



第 5 号

発行 福島県立ふたば未来学園高等学校
保護者と教師の会

所在地 〒979-0403
福島県双葉郡広野町大字下浅見川
字築地12

編集 PTA調査広報委員会

印刷 八幡印刷株式会社



入学式

ようこそ三期生！

平成29年4月10日(月)、第3回ふたば未来学園高校入学式が行われました。
新入生149名が入学し、3学年すべてがようやくそろいました。
先輩から後輩へ受け継がれていく伝統、その第一歩が刻まれた日となりました。

ふたば未来学園の歌

学が覚える身につける
胸に落ちるまで考える
深くて広い心と体
未来に向かうこの自分
すこやかにしなやかに
地球に生きる人はみな
違うからこそ面白い
遠くて近い私とあなた
自分を生かすそれぞれに
なごやかにたくましく

この故郷に根を張って
目指す世界は限りない
色とりどりの自然と文化
支え合ういのちといのち
のびやかにあおらかに



1組 2組 3組 4組 B組 (猪苗代校舎) A組 (三島長陵校舎)

校長挨拶

校長 丹野 純一

三年生は、いよいよ、就職、進学のための試験の時期を迎えています。約七割の生徒は進学であり、在学中の学習や活動の実績を生かしたAO入試や推薦入試で受験する生徒、数多くの著名大学からいたっている指定校推薦を活用する生徒、センター試験受験などによる一般入試で国立などを受験する生徒がいます。就職は、双葉郡、いわきなどの地元企業を希望する生徒が多い一方で、東京などを希望する生徒もいます。

三年生の中には、「ふるさとのために」という思いから、あるいは「選抜生活の経験」から、さらには、「本校での学び」から、将来の夢や希望を持つに至り、進学や就職先を決めたという生徒が少なからずいます。たとえば、「将来、ふるさとの地で開業したい」、「遊樂所で子供の世話をした経験から子供が好きになって」、「地域のために頑張る大人の姿にあこがれて」という生徒がいます。

こうした生徒を見ていて思うのは、「ふるさとのために」というやや義務感にも似た思いが、「ふるさとで、自分がやりたいこんなことをしてみたい」という夢に変わってきたということです。「誰かのために」という思いと「自分のやりたいこと」が自然にとけあって、メンタル面ではレジリエンス（折れない心）となっていく。それはトップアスリートも同様ではないでしょうか。

自分の人生です。自分の夢や目標に向かって進んでほしいと思います。その中で、「自分のやりたいことをやるにはこの場所がいい」と思えるようになれば、ふるさとを喜ぶのではないのでしょうか。



本校舎

本校舎生は、新1年生118名が入学し、338名が広野町の校舎に通っています。

1年生は、「産業社会と人間」の授業において、ふるさと創造学を学び、平田オリザ先生のご指導のもとふるさとの問題を演劇で表現しようとして取り組んでいます。2・3年生は、総合的な学習の時間において「未来創造探究」の授業に取り組んでいます。

初の卒業生となる3年生の進路活動も大詰めとなっています。各種模試や課外、面接練習や放課後の自習といった光景も見られるようになりました。



三年目の取り組み 〜本校の特色ある授業〜

コラボ・スクール 双葉みらいラボ

本校舎では、高校生の学習支援や相談対応などを行うNPO法人「カタリバ」と連携し、「コラボ・スクール 双葉みらいラボ」を立ち上げました。6月から空き教室を利用して生徒のみなさんと交流・支援等を行っていましたが、学校敷地そばにプレハブを建設し、9月20日にプレオープン、28日に開所式を行いました。「コラボ・スクール 双葉みらいラボ」の担当者の方から、簡単にご紹介をいただきました。



NPO法人カタリバが運営する「コラボ・スクール 双葉みらいラボ」は、学校や家とも違った、子どもたちにとっての居場所です。宿題や受験勉強、進路相談、友人・先輩・地域の大人や大学生との交流、子どもたちの興味関心を後押しする学びの場です。

平日毎日、放課後の20時までオープン。スタッフも毎日早退。ぜひ一度、足を運んでみてください。

未来創造探究

未来創造探究の授業では、2・3学年の生徒たちが6つのグループに分かれ、探究活動を通して学習を行います。そのなかから、今回は「3学年アグリビジネス探究班」の活動



を少しご紹介いたします。

アグリビジネス探究班は、3年生28名からなるメンバーで、昨年に引き続き、双葉郡内8町村における課題やニーズを探して活動を行っています。

広野町チームは、町花「やまゆり」を栽培し、町中やまゆりに一杯にする取り組みを行っています。役場・イオン・小中学校・駅・本校の繁みやまゆりのプランターを設置しました。今後、球根を国際フォーラム（10月12日〜15日 広野町）において町民に配布します。

橋葉町チームは、10月11日に橋葉小中学校の給食に、「鮭のムニエル・マミーすいとん・ゆずゼリー」といった橋葉町の特徴を表現したオリジナル給食を提供します。

富岡町チームは「雑草大倉山復活！」など、他のチームもそれぞれ地域を元気にする活動を行っています。

平田オリザ先生の授業

昨年に続き、平田オリザ先生が1年生の「ふるさと創造学」の演劇制作をご指導くださっています。今年も新聞社の方々に事前に上手なインタビューの仕方について教えていただきました。双葉郡の各所でインタビューを行いました。地域の課題をもとに演じた劇、今年ほどこのようなものが出来るでしょうか。

アカデミック系列

アカデミック系列とは、4年制大学や短期大学といった、文系理系の上級学校への進学を目指す生徒に対して、主要5教科の発展的内容を学ぶことができる系列です。

大学入学試験で必要となる科目を、生徒の進路に応じてバランスよく受講できます。また、講義形式だけでなく、意見を発表したり

トップアスリート系列

トップアスリート系列では、バドミントン（猪苗代校舎）、レスリング・サツ（本校舎・三島長陵JFAアカデミー福島）・野球の四競技について、高度な技術や知識を習得し、その競技のトップアスリートや生還スポーツのリーダーとなることを目指します。



スペシャリスト系列

スペシャリスト系列では、「農業」「工業」「商業」「福祉」の4つの専門分野の学習を中心に行い、専門的な技能や知識を身につけることを目的としています。今回は、そのなかで「福祉」について、簡単に紹介します。



生徒同士が交流したりといった、表現活動を取り入れた授業が多いため、それが問われる入試にも対応できるものとなっています。



そのなかで、野球部の授業の様子についてご紹介いたします。現在、スポーツIIの授業やそのあとの部活動では、主に橋葉町のSOSO、R、ならはスタジアムや、富岡町の富岡総合運動公園野球場を利用しています。現在のカリキュラムでは、水曜日以外は午後から球場で練習ができるので、環境面や時間の面で、大変良い練習ができています。念願の甲子園に向けて、日々がんばっています。

「将来福祉に関する職に就きたい」「福祉に興味がある」などと考えている生徒達がこのコースで学んでいます。普段の授業で基礎的な知識を学び、社会人講師による専門的な講話や演習もあります。3年次生は、「介護職員初任者研修」の修了を目指しており、夏休み中に現場実習にも参加しました。



JFA アカデミー福島 大会結果

男子

- 高円宮杯U-18サッカーリーグ2017プリンスリーグ東海
9月25日現在8勝6敗で4位
- 高円宮杯U-18サッカーリーグ2017静岡・スルガカップBリーグ
9月25日現在8勝6敗2分で第4位

女子

- プレナスチャレンジリーグWEST
4勝8敗3分で5位
- プレナスチャレンジリーグ順位決定戦
1勝2分でグループ1位、リーグ9位



日本代表

- モンテキュー国際大会、男子2名がU-16日本代表として参加し3位
- 第13回日中韓国国際女子サッカー大会、女子2名が日本代表として参加し2位
- AFC U-16女子選手権タイ2017、女子4名がU-16日本女子代表として参加

静岡県代表

- SBSカップ国際ユースサッカー、男子3名がU-18静岡県選抜として参加し4位
- 国民体育大会第98回東海ブロック大会、男子5名が静岡県代表として参加し、団体出場権獲得
- 第72回国民体育大会サッカー競技会、女子6名が静岡県代表選手として参加

学校紹介

1年A組 三宅抄燈

私たちが通っている三島長陵校舎は、JFAアカデミー福島に所属している高校生で構成されています。私たちは日頃からサッカーが中心の生活をしています。それに伴い判断力や自律が求められています。だから、日々の楽しい練習や試合による疲れが残っているときもありますが、授業はしっかり気持ちを切り替えて集中して取り組んでいます。授業中の発言も多く、分からない問題があれば互いに教えあい、生徒同士で解決するようにしています。みんなそれぞれが自分の目標に向かって充実した学校生活を送っています。

三島長陵校舎

三島長陵校舎生は、どの学年も明るく元気な活発なので、授業では一人ひとりが質問に対して考え、積極的に発言しています。また、分からない問題があれば周りの友達や先生にヒントをもらいながら答えを出しています。部活動では、男女ともにリーグ戦があり、勝つためには必要なかを監督や選手全員で共有しながら練習しています。サッカーはチームワークが大切で、特に声掛けが大事です。良いプレーはみんなで褒め、ミスプレーにはお互いが指摘し合い、何が良くなかったのかを話して次に繋げられるようにしています。女子のリーグ戦はもう終わりましたが、皇后杯に向けて頑張ります。男子のリーグ戦は12月まで続くので、勝ち続けられるようチーム一丸となって頑張ります。



JFAアカデミーに所属し、サッカーのトップアスリートを目指す三島長陵校舎生。今年度は1年生22名が新たに加わり、2学年がそろい、58名で活動しています。開校3年目となり、日本クラブユース選手権(U-18)や静岡県リーグなどのほか、日本代表や静岡県代表で活躍している選手もいます。学校では、午前中に(曜日、学年によって午後まで)授業を受け、午後にトレーニングを行うという生活を送っています。



学校紹介

1年B組 安田伊吹

猪苗代校舎は、今年度から3学年全てが揃い、計26名で活動しています。練習では、チームや個人の目標に向かって日々切磋琢磨しており、学校や寮では、仲良く楽しくにぎやかに、勉強や種々な活動に取り組んでいます。

今年度のインターハイでは、男女団体がアベック優勝を果たし、史上初の5冠を成し遂げることができました。先輩方との絆を大切に、これからも『高岡魂』を胸に「来年こそは6冠を」という思いで頑張っていきます。応援よろしくお願いします。



猪苗代校舎

●第68回全国高等学校バドミントン選手権大会 (7/30~8/3)

史上初となる五冠を達成

- 【男子団体】
優勝
- 【男子ダブルス】
優勝 金子 真大・久保田友之祐 (3年)
第2位 山田 尚輝・筑後 憲太 (3年)
- 【男子シングルス】
第3位 金子 真大 (3年)
- 【女子団体】
優勝
- 【女子ダブルス】
優勝 高橋明日香・由良なぎさ (3年)
- 【女子シングルス】
優勝 高橋明日香 (3年)
第3位 水井ひらり (2年)

バドミントンのトップアスリートを目指す生徒が在籍する猪苗代校舎。今年度は新たに1年生9名を加えた26名で活動しています。日々の授業の傍ら、猪苗代町総合体育館(通称・カメリーナ)でバドミントンの練習に励んでいます。生徒同士が切磋琢磨し、全国高校総体などでもめざましい実績を上げています。国内大会での上位入賞を目指すだけでなく、国際大会で活躍することを目的とし、日々の練習に取り組んでいます。



熱



つないだ!! FESTIVAL!!!

三校舎合同体育祭
7/12~7/13

はじめての体育祭準備・運営
(生徒会) 遠藤 暁

体育祭で生徒会執行部員は、実行委員と共に、事前準備と当日の運営を行いました。初めての行事だったので、準備は難航し、当日も一時雷雨に発展されるなど、一筋縄ではいきませんでした。

しかし、体育祭は三校舎合同で行える数少ない企画であったため、生徒みんなが当日大いに盛り上がりました。

クラスの絆、学校としてのつながりを感じられる良い行事となりました。



最後の行事を振り返って
(3学年) 佐藤 崇樹

三年生にとっては最後の行事となった体育祭は、雨で体育館に移動することもありましたが、最初から最後まで楽しむことができました。3つの学年が全員揃う初めての行事だったため、この学校で三学年がついに揃ったことを改めて実感しました。

7月12日(水)・13日(木)の2日間に渡り、ふたば未来学園本校舎で体育祭が行われました。本校舎生、猪苗代校舎生、三島長陵校舎生が一室に会し、激戦を繰り広げました。体育祭を通して、クラスの絆が深まるとともに、とても素晴らしい思い出作りができました。



絆を深めた体育祭

(三島) 十川 夢希

今回の体育祭は、私たちにとっても初めての行事だったので、どのような流れなのか、本校舎の生徒と協力して良い体育祭を作れるかという不安も少しありました。しかし、始まってみれば、本校舎の生徒ともコミュニケーションが取れ、さまざまな競技でも楽しく盛り上がることができました。また、全学年揃って良い結果が残せたので良かったです。次回の体育祭でも良い交流を行い、「ふたば未来学園」という絆を深めていきたいです。



体育祭を振り返って (1学年) 小関大輝

僕は、はじめ三鳥校舎や猪苗代校舎の人たちと仲良くできるかなと思いました。しかし、みんなおもしろくてのりが良くて、すごく楽しかったです。競技では三鳥や猪苗代の人たちがずば抜けていました。

体育祭全体では、普段の学校生活では味わえない盛り上がりを見せました。僕たちのクラスもみんなで応援して、団結力も増したと思います。次に三校舎がそろそろ時があったら、もっと積極的に話しかけたいです。とても楽しい体育祭でした。

楽しかった体育祭 (1学年) 松岡聖和

今回の体育祭は、大会や遠征が重なっておらず、猪苗代校舎のみんなまで参加できました。本校舎での行事は、いつもの学校生活と違って新鮮で、楽しかったです。僕が一番印象に残っているのは、応援合戦です。三校舎みんなで声を出したり歌ったりしたのは、良い思い出です。僕はバドミントン部なので、手を使う競技には自信があり、玉入れは絶対一位になるうと思っていました。そして熱戦の末に一位になり、総合でも三位になりました。また三校舎そろって、楽しい行事をしたいです。



走った!! 笑った!! SPORTS FEST

秋元大 二百目

素晴らしい体育祭 (2学年) 大槻雄大

三学年が揃って初めての体育祭はとても素晴らしいものとなりました。それぞれの種目一人ひとりが本気になって取り組んでいました。また、クラスの団結力も強まりました。これからの学校生活で、とても大きな宝となると思いました。



職員紹介

開校三年目となり、三十名近い先生方がいらつしやいました。そのため、先生方が覚えきれないとの声が、保護者の方や子ども達から聞かれるようになりました。少しでも先生方が見えるように、質問もひとつお願いしました。ご協力、ありがとうございました。



質問

- ① 役職・教科
- ② ホームルーム
- ③ 部活動
- ④ 現在の仕事でなければ、どのような仕事に就いていたと思いますか？



PTA 活動報告

総務委員会

総務委員会では、高等学校 P T A 連合会の各種会議に参加してまいりました。六月一日、二日にスバリゾートハワイアンズで行われた福島県高等学校 P T A 連合会大会、六月二十七日に原町高校で行われました相双地区高等学校 P T A 連合会、七月六日・七日に盛岡市民文化ホールで行われました東北地区高等学校 P T A 連合会盛岡大会、そして、八月二十四・二十五日に静岡県のアクトシティ浜松で行われました全国高等学校 P T A 連合会大会などに参加して参りました。

また、九月二十日には保護者と教師の会議演会として、「ガリガリ君」でおなじみの赤城乳業株式会社の方をお招きして、ご講演をいただきました。

そして、夏休み中に保護者と教師の会会長が三島長陵校舎を訪れ、三島長陵生を激励しました。



一期生の卒業に向けて、後

進路対策委員会

六月三十日(金)、保護者十六名で、青山学院大学・青山キャンパスおよび、N P O 法人カトリバが運営するアロウの視察研修を実施しました。青山学院大学では、礼拝堂をはじめとする伝統的な建築と近代的な設備が融合したキャンパスを案内していただきました。また、学校の概要についても丁寧な説明を聞かせていただきました。



八月十一日には広野町で開催された「広野町サマーフェスタ2017」の校外補導も実施し、地元での開催とあって多くの生徒の校外での様子を知ることができました。



調査広報委員会

調査広報委員会では、今年度も二回の広報紙の発行を予定しています。九月末日には第五号の本紙を発行しました。そして、三月一日に第六号を発行する予定です。そのための取材や写真撮影は随時行っています。



また、十二月には福島県 P T A 広報紙コンクールへの参加を予定しています。保護者の皆さまに、学校のことがかしつかりと伝わるよう、精一杯頑張ります。

強くしなやかな3本の矢に



ようやく、ふたば未来学園高等学校にも三年生すべての生徒が揃い、笑い声が響き渡り、笑顔の花も増えました。また、開校からの歴史は浅くとも大きな功績を残して、地域の方々に大きな希望を与えている子供達や、それを支えている保護者の方や先生方にも感謝申し上げます。

今年度は全校生徒が一致団結し汗を流す体育祭もありました。今は離れて活動しておりますが、体育祭

健全育成委員会

保護者と教師の会
会長 根本みゆき

後にバスでそれぞれの場所へ戻る際、バスに向かって本校舎の生徒達が応援歌を送る姿に感動しつつ、離れていてもふたば未来学園高等学校は一つなんだと実感しました。

本校舎、猪苗代校舎・三島長陵校舎。たとえ遠く離れた場所にいたとしても、子供達には互いを高めあう三本の矢となつてほしいと願っています。また、それを支える保護者、教職員もまた強い矢となり、しっかりと地域と共に歩んでほしいと思います。みなさん、よろしくお願ひいたします。

役員紹介

●本部役員	会長 根本みゆき	副会長 根下本	監 査 高和山
●専門委員会	進路対策委員長 新本多	進路対策委員 本多	進路対策委員 田永
健全育成委員長 大池	健全育成委員 田池	健全育成委員 美和	健全育成委員 子代
調査広報委員長 三策	調査広報委員 三策	調査広報委員 三策	調査広報委員 三策

ケータイ連絡網について

本校では一斉メール配信システムを導入しています。子どもたちの安全を守り、学校での活動を円滑に行うためのものです。多くの方のご登録をお願いいたします。

futabamirai-pta@ktaiwork.jp に空メールを送信してください。

- ※登録が完了した後、その旨の通知が届きますので、大切に保管してください。
- ※迷惑メールフィルタを設定していると受信できません。事前にドメインからのメールを受信することを許可するように設定変更をお願いします。
- ※この連絡網は株式会社アルカディアによるもので、上記目的以外では使用しません。また、メールアドレス以外の個人情報は一切必要ありません。

ふたば未来学園高校ホームページでも、随時生徒の学校生活の様子をアップしています。ぜひご覧下さい。

<http://www.futabamiraigakuen-h.fks.ed.jp>

後編 編集

開校して三年目を迎え、新たな役員と共に、無事ふたば未来学園 P T A 会報「翔」第五号を発行することが出来ました。

今回三校舎合同体育祭も行われ、広報委員も取材として写真撮影の許可をいただきました。

カメラのフアインダー越しに、開校で生徒達の頑張る姿を見て、さらに写真に収める事ができ、貴重な二日間を経験させてもらいました。

今後も、卒業アルバムの写真と共に保管してもらえれば、そんな広報作りを目指し、生徒達の学校生活や活躍する姿を P T A 会報「翔」で皆様にご覧いただきたく思います。

快く写真撮影に協力して下さいました先生方や生徒の皆さんに本当に有難う御座います。

※部活動の大会結果については、今年度から生徒会誌に掲載します。ご了承ください。